

# Excelによる決算報告書の活用方法

< 勘定奉行21シリーズ >

## 概 要

[決算報告書] メニューで転送したデータを、Excelで通常どおり開くと、ひとつのセルの中にすべてのデータが表示されます。

ここでは、項目ごとにひとつのセルに表示されるように、転送ファイルの作成方法と、Excelでの開き方を説明します。

以下の2つのパターンにより、手順が異なります。

A : 帳票ごとに、「勘定式」「報告式」が混在している場合（1ページ）

B : すべての帳票が、同じ印刷形式の場合（12ページ）

## A : 帳票ごとに、「勘定式」「報告式」が混在している場合

[印刷形式] が「勘定式」と「報告式」と混在している状態で転送を実行すると、加工が困難なため、「勘定式」のみの転送ファイルと、「報告式」のみの転送ファイルを別々に作成し、Excel上でそれぞれ加工します。

(例) 貸借対照表・株主資本等変動計算書を「勘定式」、損益計算書・製造原価報告書を「報告式」で作成する場合

### 貸借対照表・株主資本等変動計算書「勘定式」の転送ファイルの作成

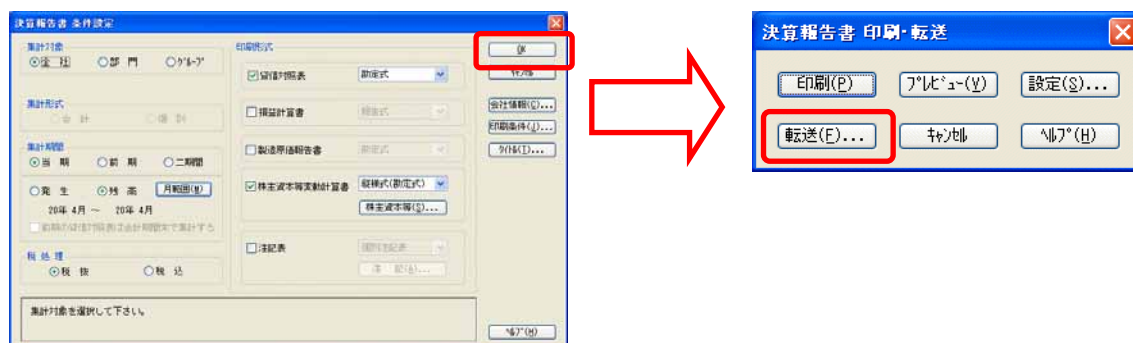
① [日常処理1] - [決算報告書] - [決算報告書] メニューを開きます。

[印刷形式] グループで、貸借対照表・株主資本等変動計算書を「勘定式」にし、損益計算書・製造原価報告書・注記表のチェックをはずします。

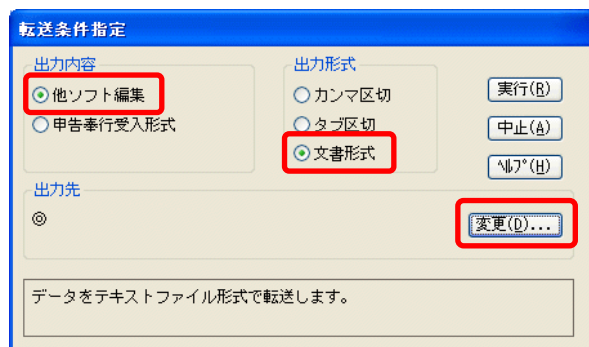
- ② <印刷条件> ボタンを押すと、[決算報告書 印刷条件] ダイアログが表示されます。  
[表紙] グループで「印刷しない」を指定し、<OK> ボタンを押します。



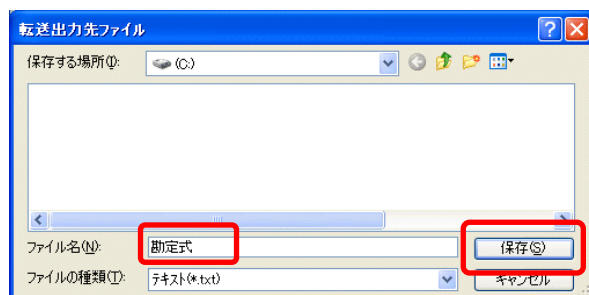
- ③ [決算報告書 条件設定] ダイアログの <OK> ボタンを押し表示される [決算報告書 印刷・転送] ダイアログで、<転送> ボタンを押します。



- ④ [出力内容] グループで「他ソフト編集」、[出力形式] グループで「文書形式」を指定し、<変更> ボタンを押します。



- ⑤ 任意の保存する場所を指定後、「ファイル名」を入力し、<保存> ボタンを押します。



⑥ [転送条件指定] ダイアログで、出力先を確認し、〈実行〉 ボタンを押します。

### ※ 参考 ※

株主資本等変動計算書は、「横様式」ので転送はできません。転送する場合は、「縦様式」を選択してください。

株主資本等変動計算書を転送すると、貸借対照表とは別のファイルに転送されます。

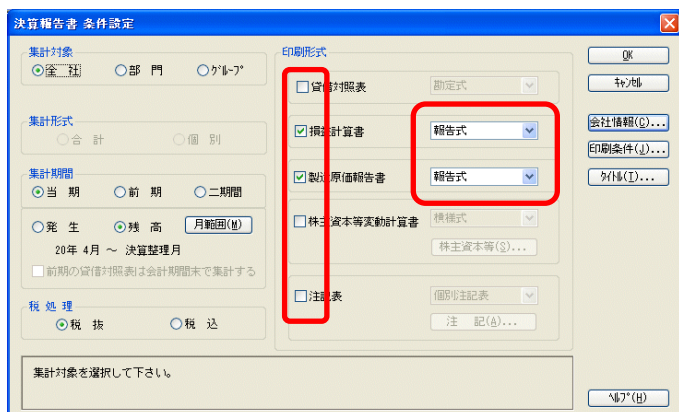
転送出力先ファイルに指定したファイル名に、自動的に「SE」がついた別ファイルが作成されます。

(例) 転送のファイル名を「勘定式.txt」とした場合、株主資本等変動計算書の転送ファイル名は、「勘定式SE.txt」となります。

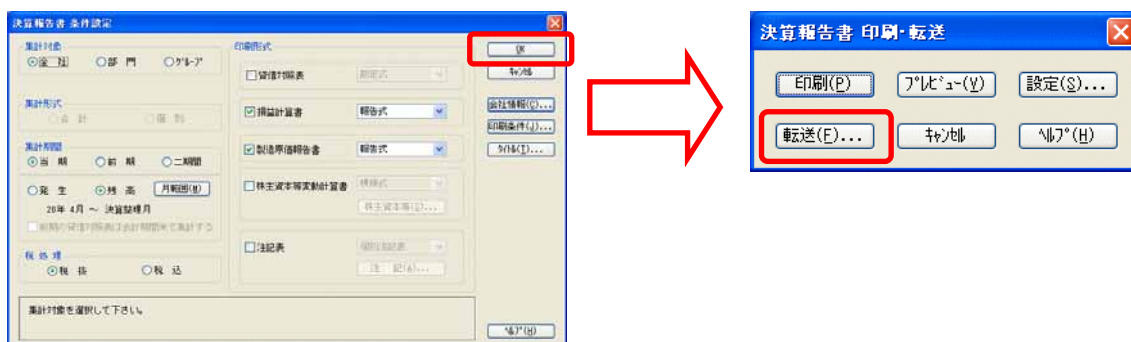
これにて、「勘定式」の転送ファイルの作成は終了です。

## 損益計算書・製造原価報告書「報告式」の転送ファイルの作成

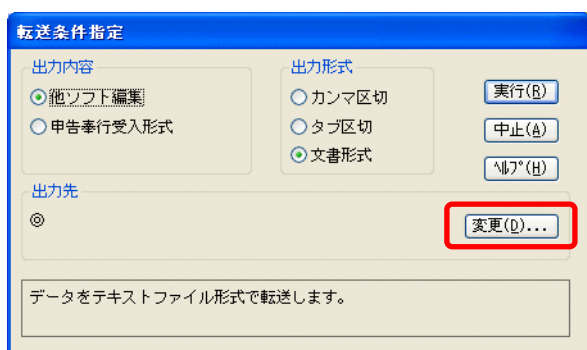
- ① [印刷形式] グループで、貸借対照表・株主資本等変動計算書・注記表のチェックをはずし、損益計算書・製造原価報告書は「報告式」を選択します。



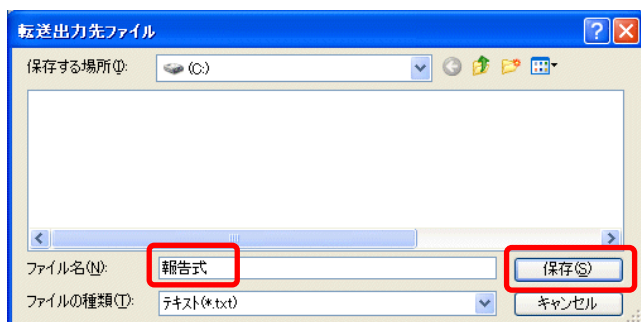
- ② <OK> ボタン を押し表示される [決算報告書 印刷・転送] ダイアログで、<転送> ボタンを押します。



- ③ [転送条件指定] ダイアログで、<変更> ボタンを押します。



- ④ 任意の保存する場所を指定後、「ファイル名」を入力し、<保存> ボタンを押します。

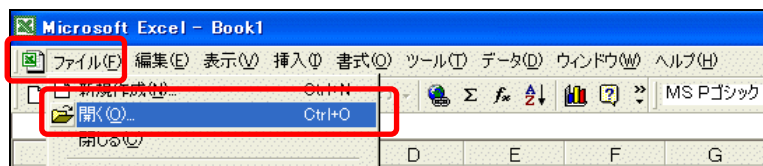


- ⑤ [転送出力先] ダイアログで、出力先を確認し、<実行> ボタンを押します。

これにて、「報告式」の転送ファイルの作成は終了です。



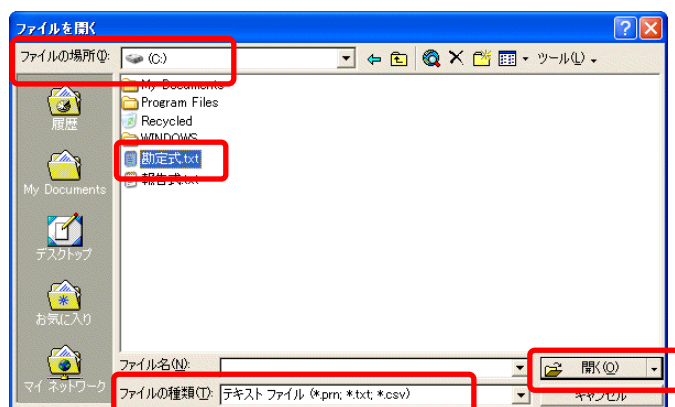
- ① Excelを起動し、[ファイル] - [開く] メニューを開きます。



- ② [ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

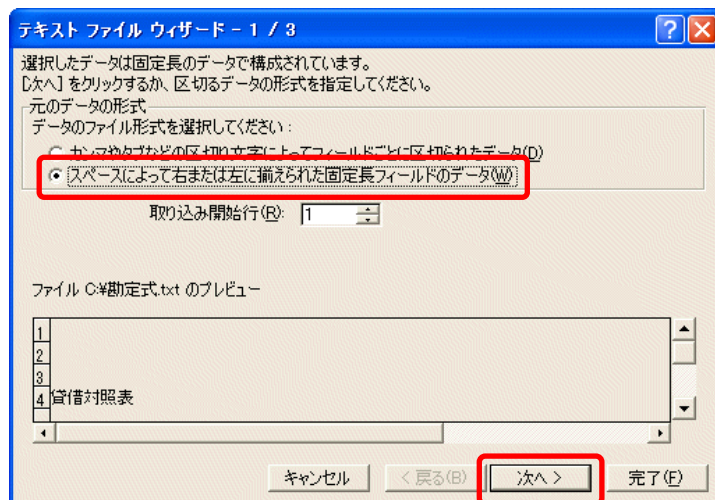
[ファイルの場所] は、勘定奉行の[転送条件指定] ダイアログで指定した場所を指定します。

[ファイルの種類] で、「テキストファイル (\*.prn; \*.txt; \*.csv)」を選択すると、「勘定式.txt」が表示されますので、これを選択し、<開く> ボタンを押します。



- ③ [テキスト ファイル ウィザード 1 / 3] が表示されます。

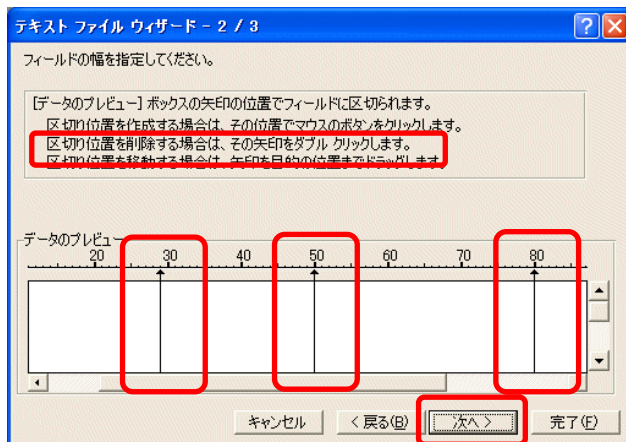
「スペースによって、右または左に揃えられた固定長フィールドのデータ」にチェックを付け、<次へ> ボタンを押します。



④ [テキスト ファイル ウィザード 2／3] が表示されます。

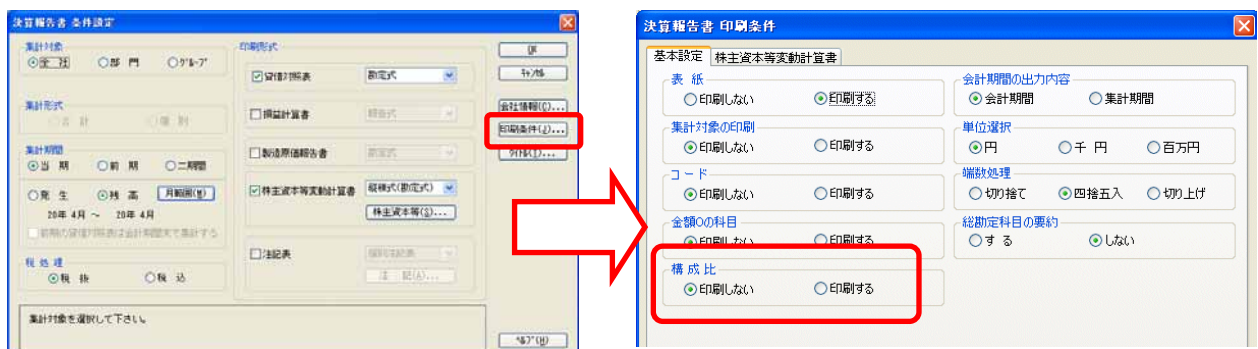
「データのプレビュー」で、既に表示されている区切り位置を、ダブルクリックして、一旦すべて削除します。

それから、**29、50、80**（⇒下記 ※ 参考 ※ を参照してください）の位置をマウスでクリックして、区切り位置を設定し、〈次へ〉 ボタンを押します。



※ 参考 ※

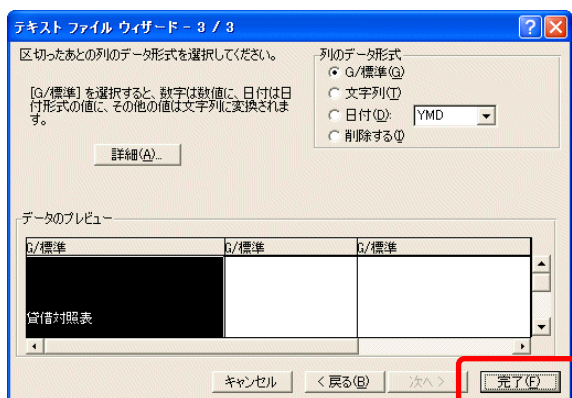
「勘定式」の転送ファイルを開く場合、[テキスト ファイル ウィザード 2／3] で設定する区切り位置は、[決算報告書 印刷条件] ダイアログ 中の、[構成比] グループを印刷するかどうかによって、変わります。



構成比	区切り位置
印刷しない	29、50、80
印刷する	24、44、53、76、96

⑤ [テキスト ファイル ウィザード 3／3] が表示されます。

そのまま、〈完了〉 ボタンを押します。



⑥ 転送ファイルが開かれます。

列と列の間にカーソルを入れたら、⇄マークが表示され、列を拡げられるようになります。

列を拡げると、右図のようになります。

Microsoft Excel - 勘定式.txt			
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)			
A1 =			
A	B	C	D
1			
2			
3			
4	貸借対照表		
5			
6	平成 16 年 3 月 31 日 現在		
7	OBC商事 株式会社		単位: 円
8	資産の部	負債の部	
9	科 目 金 額	科 目 金 額	
10	【流動資産 262,029,110】	【流動負債 674,766,979】	
11	現 金	支払手形	
12	小口現金 699,950	設備支払手形	
13	当座預金	買掛金	
14	普通預金	短期借入金	
15	通知預金 1,500,000	裏書手形	
16	定期預金	未払金 1,275,000	
17	定期積立預金 3,800,000	未払費用	
18	受取手形	前受金 3,690,000	
19	売掛金	仮受金 1,500,000	

※ 上図の日付を、適切な位置へ移動させます。

また、勘定奉行にて、注記を各帳票下に脚注として印刷する指定をしている場合、注記も適切な位置に移動させます。



## 株主資本等変動計算書「勘定式」のExcelでの加工方法

株主資本等変動計算書の加工方法は、基本的に、前述の「貸借対照表「勘定式」のExcelでの加工方法」の ① ～ ⑥ と同様になります。

ただし、② と ④ の処理では、以下の下線部分に読み替えてください。

### ② [ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

[ファイルの場所] は、勘定奉行の [転送条件指定] ダイアログで指定した場所を指定します。

[ファイルの種類] で、「テキストファイル (\*.prn; \*.txt; \*.csv)」を選択すると、「勘定式SE.txt」が表示されますので、これを選択し、<開く> ボタンを押します。

### ④ [テキスト ファイル ウィザード 2/3] が表示されます。

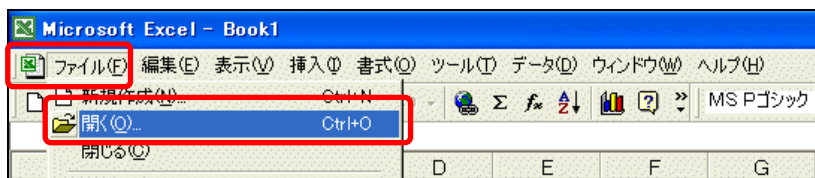
「データのプレビュー」で、既に表示されている区切り位置を、ダブルクリックして、一旦すべて削除します。

それから、29, 92 の位置をマウスでクリックして、区切り位置を設定し、<次へ> ボタンを押します。

これにて、貸借対照表・株主資本等変動計算書「勘定式」のExcelでの加工は終了です。

## 損益計算書・製造原価報告書「報告式」のExcelでの加工方法

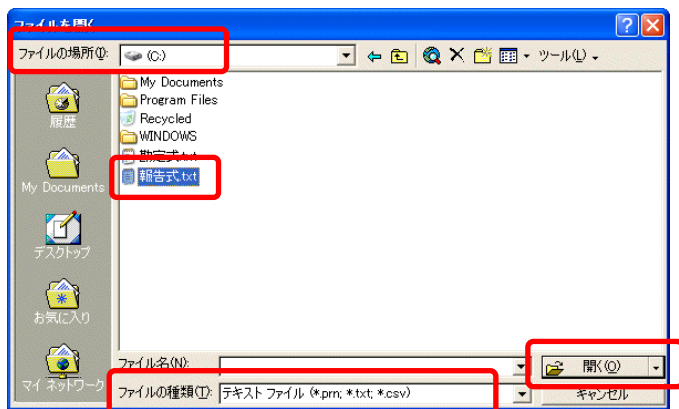
### ① Excelを起動し、[ファイル] - [開く] メニューを開きます。



### ② [ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

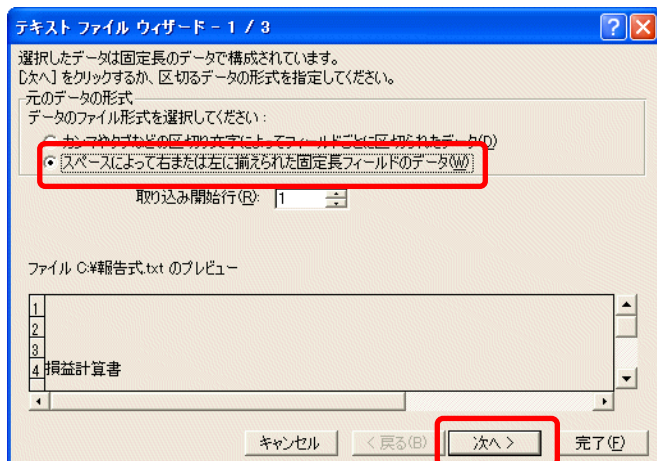
[ファイルの場所] は、勘定奉行の [転送条件指定] ダイアログで指定した場所を指定します。

[ファイルの種類] は、「テキストファイル (\*.prn; \*.txt; \*.csv)」を選択すると、「報告式.txt」が表示されますので、これを選択し、<開く> ボタンを押します。



③ [テキスト ファイル ウィザード 1/3] が表示されます。

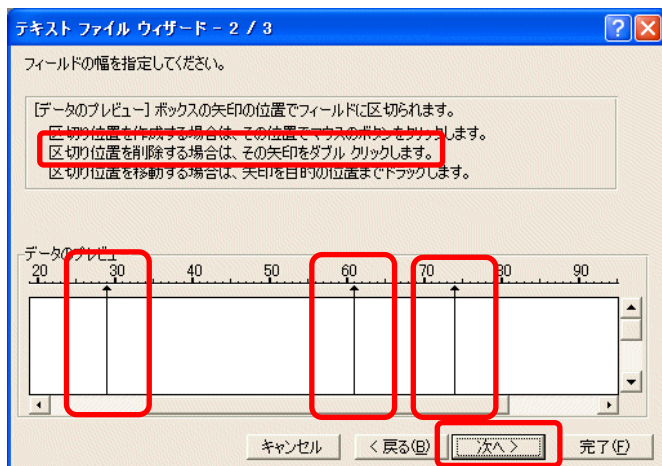
「スペースによって、右または左に揃えられた固定長フィールドのデータ」にチェックを付け、〈次へ〉ボタンを押します。



④ [テキスト ファイル ウィザード 2/3] が表示されます。

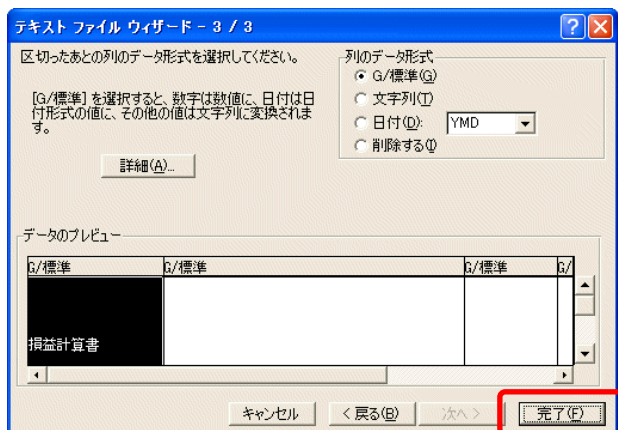
「データのプレビュー」で、既に表示されている区切り位置を、ダブルクリックして、一旦すべて削除します。

それから、**28**、**56**、**78** の位置をマウスでクリックして、区切り位置を設定し、〈次へ〉ボタンを押します。



⑤ [テキスト ファイル ウィザード 3/3] が表示されます。

そのまま、〈完了〉ボタンを押します。



⑥ 転送ファイルが開かれます。

列と列の間にカーソルを入れたら、⇔マークが表示され、列を拡張できるようになります。

列を拡張すると、右図のようになります。

Microsoft Excel - 報告.txt

	A	B	C	D
1				
2				
3				
4	損益計算書			
5				
6	自 平成	18 年 4 月	19 年 3 月	31 日
7	OBC商事 株式会社		単位: 円	
8				
9	【売上高】			
10	売上高		#####	
11	役務収益	6,174,997	#####	
12	【売上原価】			
13	仕入高		#####	
14		売上総利益	#####	
15				
16	【販売費及び一般管理費】			
17	雑 給	1,182,000		
18	賞 与	4,100,000		
19	退職金	330,000		
20	福利厚生費	6,158,703		
21	消耗品費	1,870,000		
22	事務用品費	2,360,074		

Microsoft Excel - 報告.txt

	A	B	C	D
1				
2				
3				
4	損益計算書			
5				
6	自 平成	18 年 4 月 1 日	至 平成	19 年 3 月 31 日
7	OBC商事 株式会社		単位: 円	
8				
9	【売上高】			
10	売上高		588,582,112	
11	役務収益		6,174,997	594,757,109
12	【売上原価】			
13	仕入高		252,461,174	252,461,174
14		売上総利益		342,295,935
15				
16	【販売費及び一般管理費】			
17	雑 給		1,182,000	
18	賞 与		4,100,000	
19	退職金		330,000	
20	福利厚生費		6,158,703	
21	消耗品費		1,870,000	
22	事務用品費		2,360,074	

※ 上図の日付を、適切な位置へ移動させます。

また、勘定奉行にて、注記を各帳票下に脚注として印刷する指定をしている場合、注記も適切な位置に移動させます。

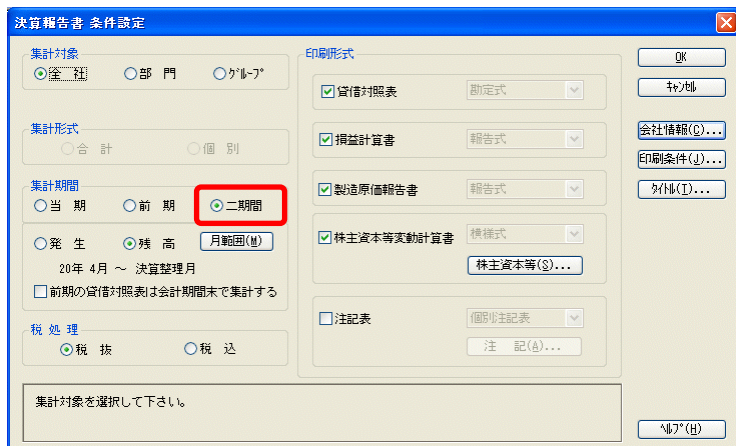
これにて、損益計算書・製造原価報告書「報告式」の、Excelでの加工は終了です。

## B：すべての帳票が、同じ印刷形式の場合

(例) 貸借対照表・損益計算書・製造原価報告書・株主資本等変動計算書を、すべて同じ印刷形式「二期間(勘定式・報告式)」で作成する場合

### 「二期間(勘定式・報告式)」の転送ファイルの作成

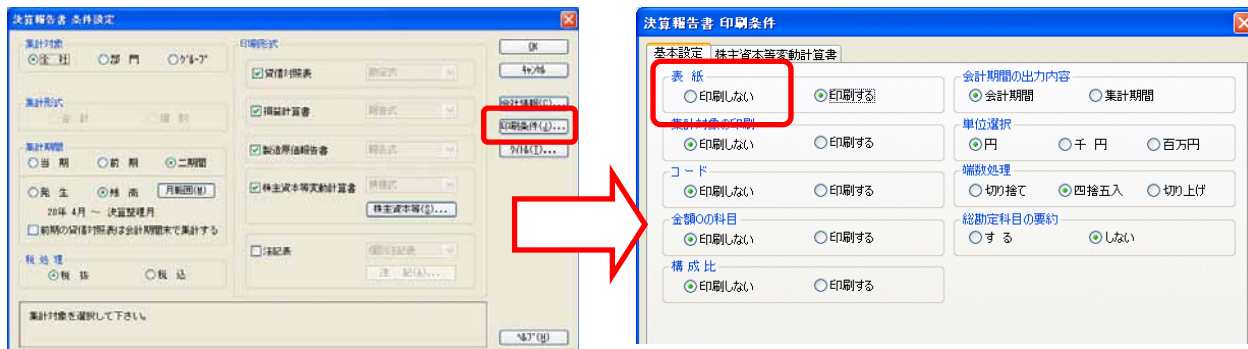
① [日常処理1] - [決算報告書] - [決算報告書] メニューを開きます。



[集計期間] グループで、「二期間」を指定します。

② <印刷条件> ボタンを押すと、[決算報告書 印刷条件] ダイアログが表示されます。

[表紙] グループで「印刷しない」を指定し、<OK> ボタンを押します。

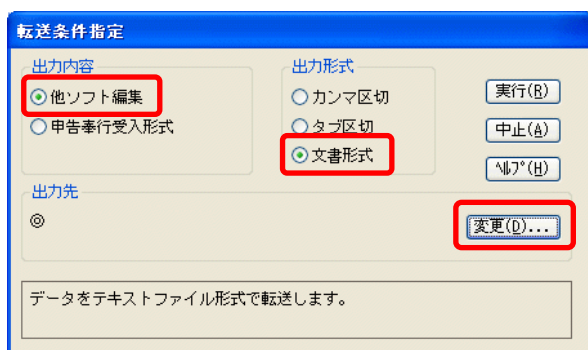


③ [決算報告書 条件設定] ダイアログの <OK> ボタンを押し表示される [決算報告書 印刷・転送] ダイアログで、<転送> ボタンを押します。

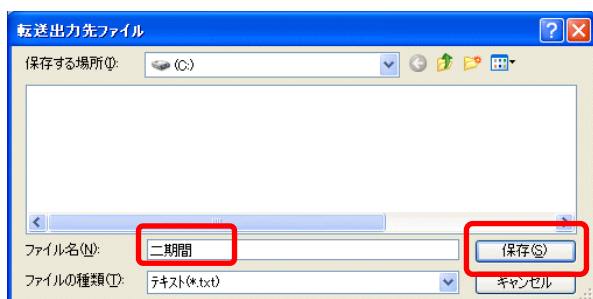




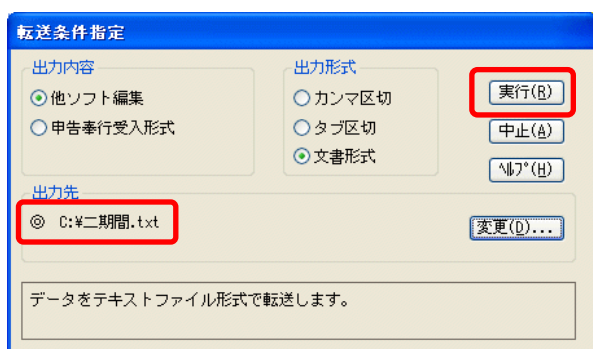
- ④ [出力内容] グループで「他ソフト編集」、[出力形式] グループで「文書形式」を指定し、〈変更〉ボタンを押します。



- ⑤ 任意の保存する場所を指定後、「ファイル名」を入力し、〈保存〉ボタンを押します。



- ⑥ [転送条件指定] ダイアログで、出力先を確認し、〈実行〉ボタンを押します。



### ※ 参考 ※

株主資本等変動計算書は、「横様式」ので転送はできません。転送する場合は、「二期間」もしくは「縦様式」を選択してください。

株主資本等変動計算書を転送すると、貸借対照表・損益計算書・製造原価報告書とは別のファイルに転送されます。

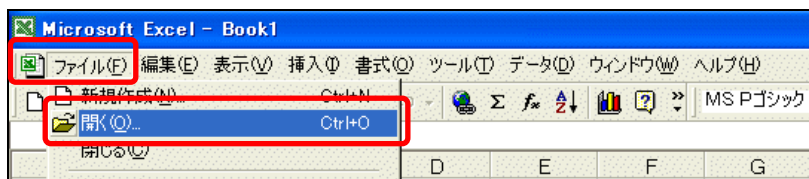
転送出力先ファイルに指定したファイル名に、自動的に「SE」がついた別ファイルが作成されます。

(例) 転送のファイル名を「二期間.txt」とした場合、株主資本等変動計算書の転送ファイル名は、「二期間SE.txt」となります。

これにて、「二期間」の転送ファイルの作成は終了です。



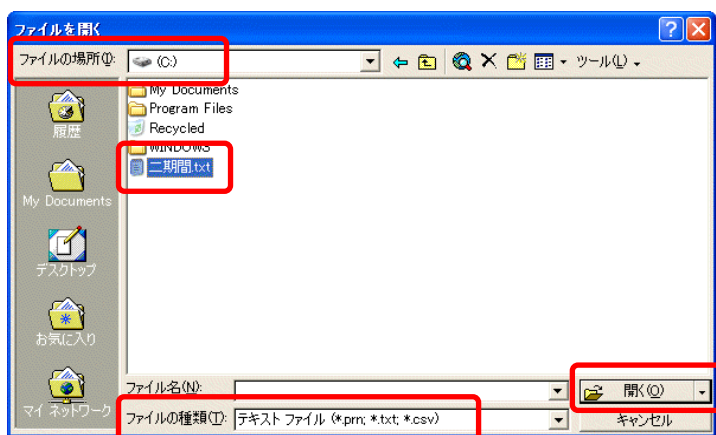
- ① Excelを起動し、[ファイル] - [開く] メニューを開きます。



- ② [ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

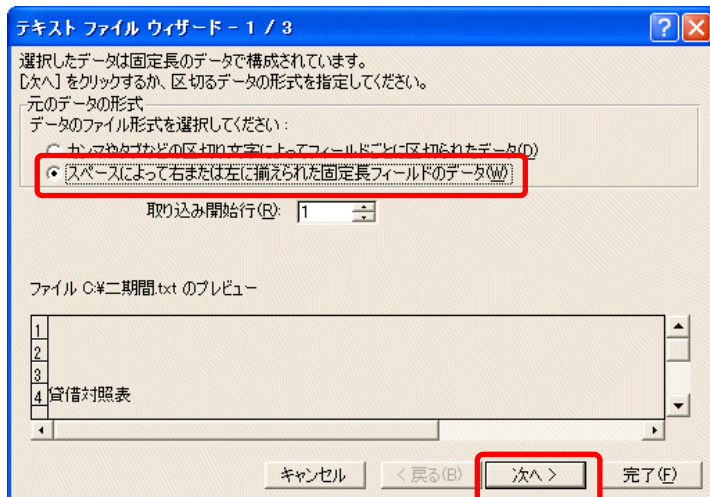
[ファイルの場所] は、勘定奉行の[転送条件指定] ダイアログで指定した場所を指定します。

[ファイルの種類] で、「テキストファイル (\*.prn; \*.txt; \*.csv)」を選択すると、「二期間.txt」が表示されますので、これを選択し、<開く> ボタンを押します。



- ③ [テキスト ファイル ウィザード 1/3] が表示されます。

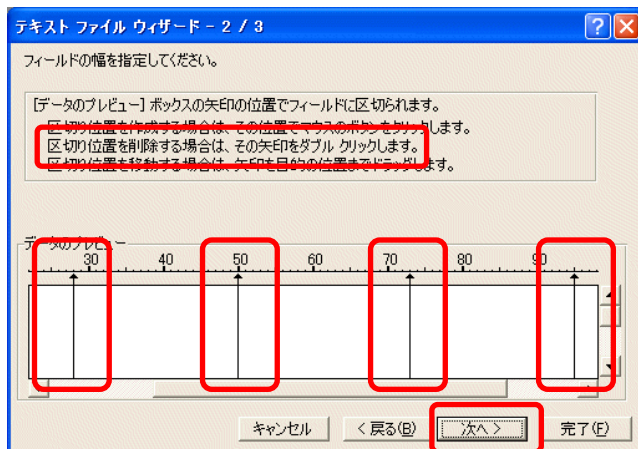
「スペースによって、右または左に揃えられた固定長フィールドのデータ」にチェックを付け、<次へ> ボタンを押します。



④ [テキスト ファイル ウィザード 2／3] が表示されます。

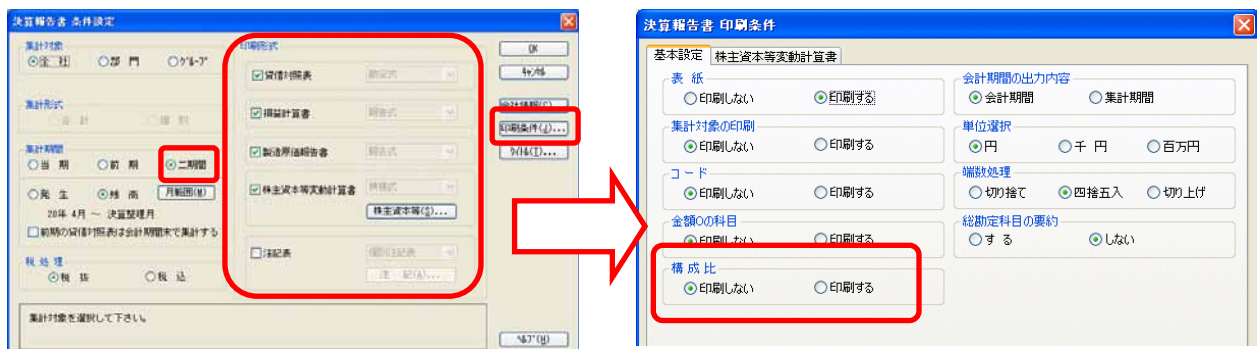
「データのプレビュー」で、既に表示されている区切り位置を、ダブルクリックして、一旦すべて削除します。

それから、二期間の場合、**28、50、73、95**（⇒他の印刷形式の場合は、下記 ※ 参考 ※ を参照してください）の位置をマウスでクリックして、区切り位置を設定し、〈次へ〉 ボタンを押します。



※ 参考 ※

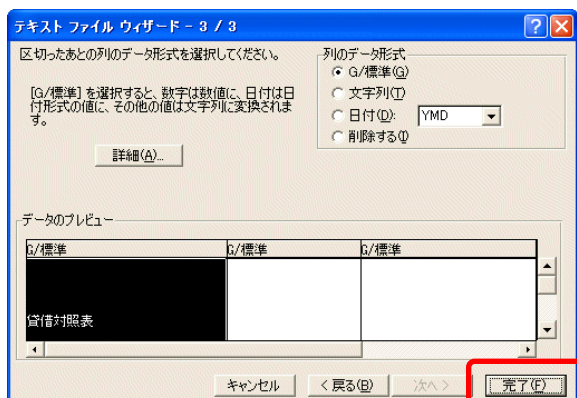
[テキスト ファイル ウィザード 2／3] で設定する区切り位置は、決算報告書での条件 [集計期間] [印刷形式] [構成比] グループの設定によって、変わります。



集計期間	印刷形式	構成比	区切り位置
—	勘定式	印刷しない	29、50、80
—	勘定式	印刷する	24、44、53、76、96
—	報告式	—	28、56、78
二期間比較	—	—	28、50、73、95

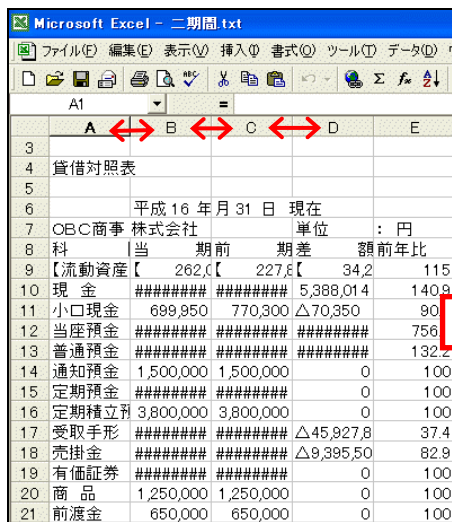
⑤ [テキスト ファイル ウィザード 3／3] が表示されます。

そのまま、〈完了〉 ボタンを押します。

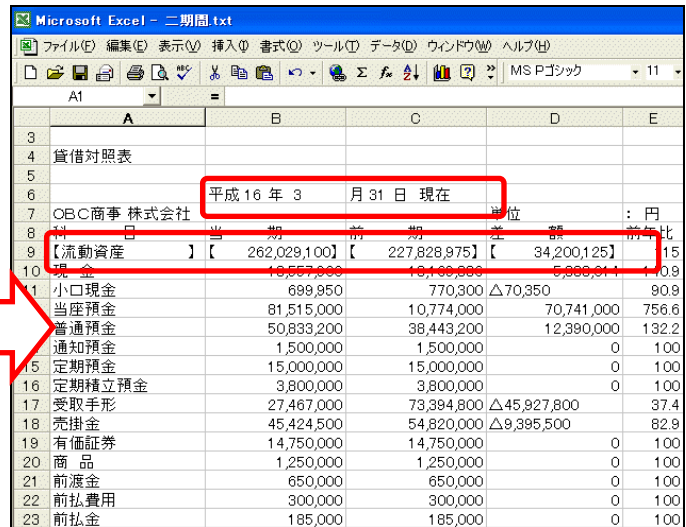


⑥ 転送ファイルが開きます。

列と列の間にカーソルを入れると、⇄マークが表示され、列を拡げられるようになります。  
列を拡げると、右図のようになります。



	A	B	C	D	E
3					
4	貸借対照表				
5					
6		平成 16 年 3 月 31 日 現在			
7	OBC商事 株式会社	単位	:	円	
8	科 目	当 期 前	期 差	額 前年比	
9	【流動資産】	262,029,100	227,828,975	34,200,125	115
10	現金	699,950	770,300	△70,350	90.9
11	小口現金	699,950	770,300	△70,350	90.9
12	当座預金	81,515,000	10,774,000	70,741,000	756.6
13	普通預金	50,833,200	38,443,200	12,390,000	132.2
14	通知預金	1,500,000	1,500,000	0	100
15	定期預金	15,000,000	15,000,000	0	100
16	定期積立預金	3,800,000	3,800,000	0	100
17	受取手形	27,467,000	73,394,800	△45,927,800	37.4
18	売掛金	45,424,500	54,820,000	△9,395,500	82.9
19	有価証券	14,750,000	14,750,000	0	100
20	商品	1,250,000	1,250,000	0	100
21	前渡金	650,000	650,000	0	100
22	前払費用	300,000	300,000	0	100
23	前払金	185,000	185,000	0	100

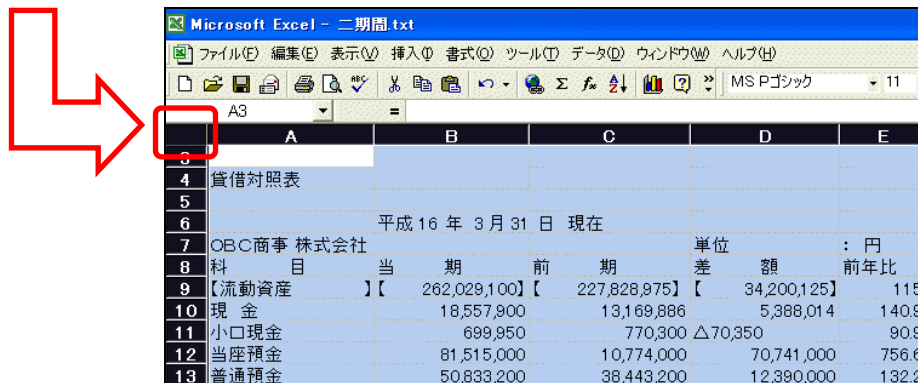


	A	B	C	D	E
3					
4	貸借対照表				
5					
6		平成 16 年 3 月 31 日 現在			
7	OBC商事 株式会社	単位	:	円	
8	科 目	当 期 前	期 差	額 前年比	
9	【流動資産】	262,029,100	227,828,975	34,200,125	115
10	現金	699,950	770,300	△70,350	90.9
11	小口現金	699,950	770,300	△70,350	90.9
12	当座預金	81,515,000	10,774,000	70,741,000	756.6
13	普通預金	50,833,200	38,443,200	12,390,000	132.2
14	通知預金	1,500,000	1,500,000	0	100
15	定期預金	15,000,000	15,000,000	0	100
16	定期積立預金	3,800,000	3,800,000	0	100
17	受取手形	27,467,000	73,394,800	△45,927,800	37.4
18	売掛金	45,424,500	54,820,000	△9,395,500	82.9
19	有価証券	14,750,000	14,750,000	0	100
20	商品	1,250,000	1,250,000	0	100
21	前渡金	650,000	650,000	0	100
22	前払費用	300,000	300,000	0	100
23	前払金	185,000	185,000	0	100

※ 上図の日付を、適切な位置へ移動させます。

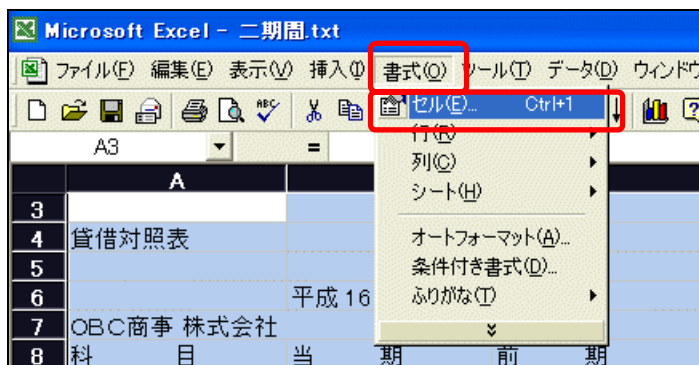
また、勘定奉行にて、注記を各帳票下に脚注として印刷する指定をしている場合、注記も適切な位置に移動させます。

⑦ 画面左上の角の四角部分をクリックして、画面全体を反転します。



	A	B	C	D	E
3					
4	貸借対照表				
5					
6		平成 16 年 3 月 31 日 現在			
7	OBC商事 株式会社	単位	:	円	
8	科 目	当 期 前	期 差	額 前年比	
9	【流動資産】	262,029,100	227,828,975	34,200,125	115
10	現金	699,950	770,300	△70,350	90.9
11	小口現金	699,950	770,300	△70,350	90.9
12	当座預金	81,515,000	10,774,000	70,741,000	756.6
13	普通預金	50,833,200	38,443,200	12,390,000	132.2

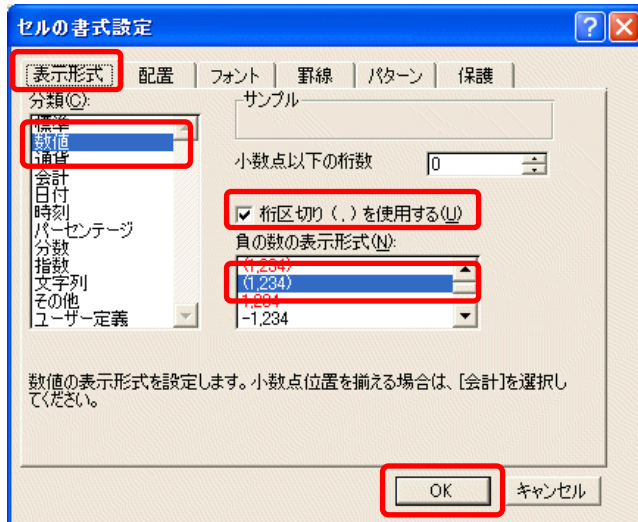
⑧ [書式] - [セル] メニューを開きます。



	A	B	C	D	E
3					
4	貸借対照表				
5					
6		平成 16			
7	OBC商事 株式会社				
8	科 目	当 期 前	期		

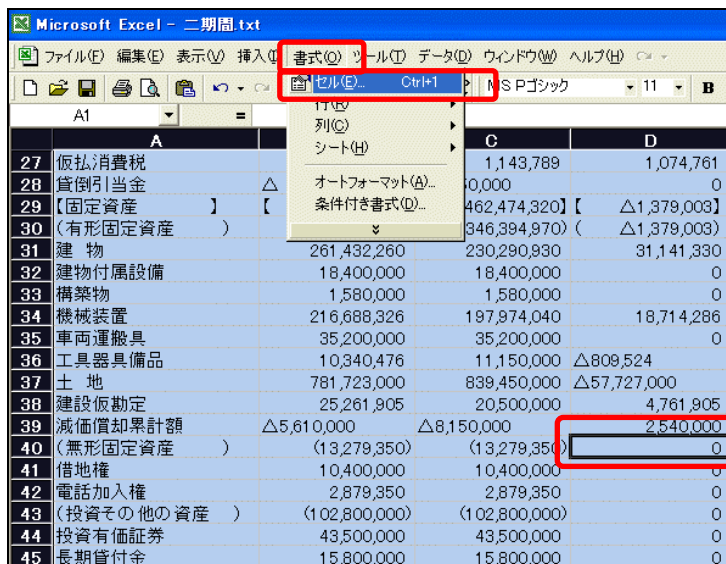
⑨ [セルの書式設定] ダイアログが表示されます。

[表示形式] タブで、以下の設定を行い、<OK> ボタン を押します。



- ・[分類] グループで [数値] を選択します。
- ・「桁区切り ( , ) を使用する」にチェックを付けます。
- ・[負の数の表示形式] グループで [(1234)] を選択します。

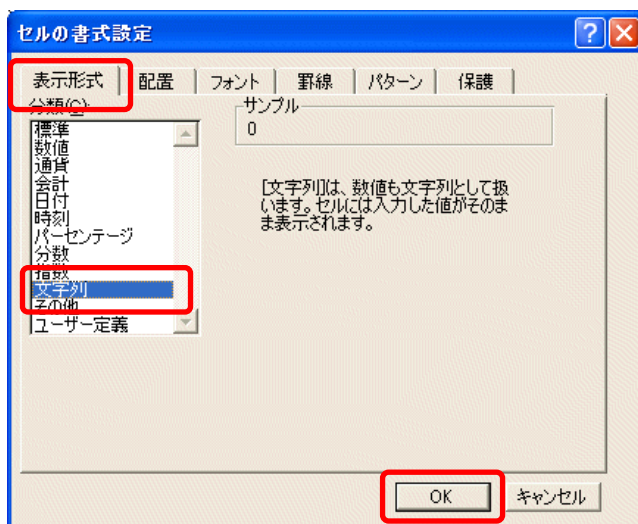
⑩ ( ) の付いている小計科目欄において、金額が0の場合のみ、( ) が取れて表示されています。該当のセルを選択して、[書式] - [セル] メニューを開きます。



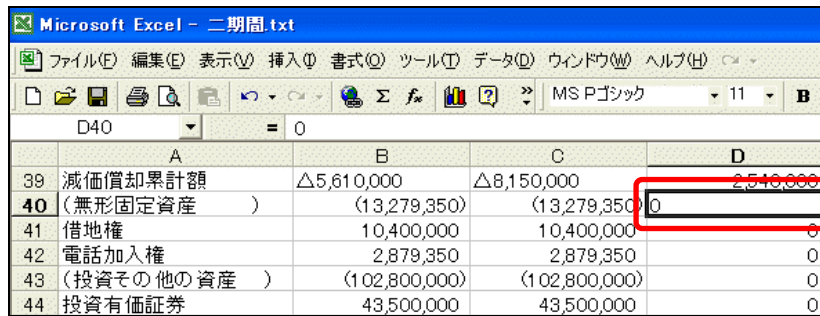
( ) が取れて表示されているセルを、ひとつずつ選択します。

⑪ [セルの書式設定] ダイアログが表示されます。

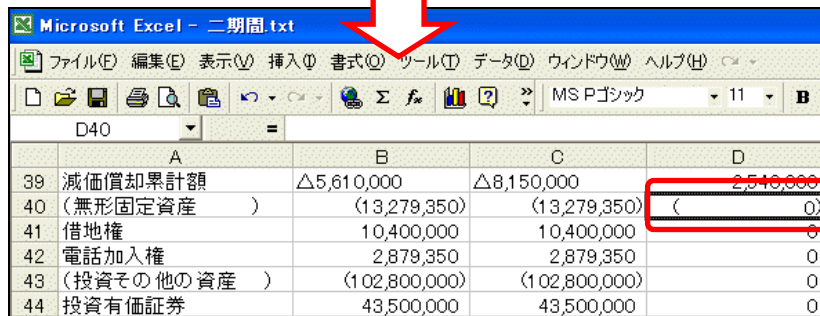
[表示形式] タブの [分類] グループで [文字列] を選択し、<OK> ボタン を押します。



⑫ 該当のセルにおいて、( ) を加え、文字を右揃えにします。



	A	B	C	D
39	減価償却累計額	△5,610,000	△8,150,000	2,540,000
40	(無形固定資産 )	(13,279,350)	(13,279,350)	0
41	借地権	10,400,000	10,400,000	0
42	電話加入権	2,879,350	2,879,350	0
43	(投資その他の資産 )	(102,800,000)	(102,800,000)	0
44	投資有価証券	43,500,000	43,500,000	0



	A	B	C	D
39	減価償却累計額	△5,610,000	△8,150,000	2,540,000
40	(無形固定資産 )	(13,279,350)	(13,279,350)	( 0)
41	借地権	10,400,000	10,400,000	0
42	電話加入権	2,879,350	2,879,350	0
43	(投資その他の資産 )	(102,800,000)	(102,800,000)	0
44	投資有価証券	43,500,000	43,500,000	0

※ 他の小計科目欄の金額0のセルについても、同様に、⑩ ～ ⑫ の処理を繰り返します。



株主資本等変動計算書の加工方法は、基本的に、前述の「貸借対照表・損益計算書・製造原価報告書「二期間(勘定式・報告式)」のExcelでの加工方法」の ❶ ～ ❷ と同様になります。ただし、❸ と ❹ の処理では、以下の下線部分に読み替えてください。

❷ [ファイルを開く] ダイアログが表示されます。

[ファイルの場所] は、勘定奉行の [転送条件指定] ダイアログで指定した場所を指定します。

[ファイルの種類] で、「テキストファイル (\*.prn; \*.txt; \*.csv)」を選択すると、「二期間SE.txt」が表示されますので、これを選択し、<開く> ボタンを押します。

❹ [テキスト ファイル ウィザード 2/3] が表示されます。

「データのプレビュー」で、既に表示されている区切り位置を、ダブルクリックして、一旦すべて削除します。

それから、二期間の場合、27, 88, 109, 129, 151 (⇒他の印刷形式の場合は、下記 ※ 参考 ※ を参照してください) の位置をマウスでクリックして、区切り位置を設定し、<次へ> ボタンを押します。

#### ※ 参考 ※

[テキスト ファイル ウィザード 2/3] で設定する区切り位置は、決算報告書での条件 [集計期間] [印刷形式] グループの設定によって、変わります。

集計期間	印刷形式	区切り位置
－	勘定式	29、92
－	報告式	28、90
二期間比較	－	27、88、109、129、151

※変動事由の名称が長い場合は、項目名が途中で切れる場合があります。その場合は、編集して調整してください。

これにて、「二期間(勘定式・報告式)」のExcelでの加工は終了です。